

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要

英語英米文学論輯

第4号

目次

〔論文〕

なぜ物質創始説か—ミルトンによるアウグスティヌスの「無」の否定—
..... 江 藤 あさじ… 1

『女性の虐待あるいはマライア』に見る娘への教え
..... 末 森 恵 子…19

D. H. ロレンスと樹木崇拝—「生命の樹」をもとめて
..... 中 田 智 子…35

The Dreaming of the Bones にみられる
独立運動に対する Yeats の姿勢..... 山 本 佳 寿…55

“Lucretia Smith’s Soldier” から “The Private History
of a Campaign That Failed” へ—小説家 Mark Twain の誕生へ—
..... 木 村 仁 美…65

〔彙報〕 81

京都女子大学

2005

彙 報

2004（平成16）年度の大学院文学研究科英文学専攻（博士前期・後期課程）の動向を報告します。

行 事

2004年4月 平成16年度入学式（入学者：前期課程4名、後期課程1名）

入学者

博士前期課程

中本 有香 本学文学部英文学科卒業（英文学領域）

中山 美香 同上（英語学領域）

東 千代子 同上（英文学領域）

福田 泰子 同上（米文学領域）

博士後期課程

出口（岡）典子 本学大学院文学研究科博士前期課程修了
（英文学領域）

2004年7月 大学院博士前期課程学内推薦入試

2004年9月 平成17年度大学院入学試験（秋季）博士前期課程

2004年11月（英文学会2004年度大会）

2004年12月 修士論文中間報告会

2005年1月 博士論文公開審査会

2005年2月 平成17年度大学院入学試験（春季）博士前・後期課程

2005年3月 平成16年度学位記授与式（前期課程修了者 2名）

前期課程修了者および修士論文題目

坂田 史絵 The Unreliable Narrators of *Wuthering Heights*:
Their Use and Deconstruction.

高島 沢子 A Study of Polysemy in Some English Com-
pounds.

博士後期課程修了者および博士論文題目

江藤あさじ 『失樂園』における神の創造—「摂理の正しき
を証せんがために」—

（江藤さんは博士後期課程英文学専攻で初めての博士（文学）
の学位を取得されました。）

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要『英語英米文学論輯』
4号刊行

前期課程授業科目一覽 (2004年度)

授業科目	週時間	単位数	学年	期間	担当者
英語学特論 A	2	2	1・2	前期	有馬 道子 教授
英語学特論 B	2	2	1・2	後期	有馬 道子 教授
英文学特論 1 B	2	2	1・2	後期	森 晴秀 教授
英文学特論 2 A	2	2	1・2	前期	武田美保子 教授
英文学特論 2 B	2	2	1・2	後期	加藤 文彦 教授
米文学特論 2 A	2	2	1・2	前期	桧原 美恵 教授
英文学演習 1 A	2	2	1・2	前期	辻 裕子 教授
英文学演習 1 B	2	2	1・2	後期	武田美保子 教授
英文学演習 2 B	2	2	1・2	後期	加藤 文彦 教授
英文学演習 3 A	2	2	1・2	前期	加藤 文彦 教授
米文学演習 1 A	2	2	1・2	前期	鴨川 卓博 教授
米文学演習 1 B	2	2	1・2	後期	舟阪 洋子 教授
英米演劇特論	2	2	1・2	後期	喜志 哲雄 講師 (集中講義)
文化記号論特論	2	2	1・2	前期	有馬 道子 教授
対照言語学特論	2	2	1・2	後期	高橋 勝忠 教授
英語文献読解演習 A	2	2	1・2	前期	吉村 宏一 教授
英語文献読解演習 B	2	2	1・2	後期	鴨川 卓博 教授
英語表現演習 A	2	2	1・2	前期	舟阪 洋子 教授
英語表現演習 B	2	2	1・2	後期	辻 裕子 教授

後期課程授業科目一覽 (2004年度)

授業科目	週時間	単位数	学年	期間	担当者
文体論特殊研究	2	4	1～3	通年	森 晴秀 教授
英語学特殊研究	2	4	1～3	通年	有馬 道子 教授
英文学特殊研究Ⅰ	2	4	1～3	通年	辻 裕子 教授
英文学特殊研究Ⅱ	2	4	1～3	通年	武田美保子 教授
英文学特殊研究Ⅲ	2	4	1～3	通年	加藤 文彦 教授
米文学特殊研究Ⅰ	2	4	1～3	通年	鴨川 卓博 教授
米文学特殊研究Ⅲ	2	4	1～3	通年	桧原 美恵 教授
研究指導	2		1～3	通年	森 晴秀 教授 有馬 道子 教授 辻 裕子 教授 加藤 文彦 教授 鴨川 卓博 教授

編集後記

大学院紀要英文学専攻分冊『英語英米文学論輯』第4号をお届けします。投稿された院生に感謝する。この号からはISSNナンバーも取得して学術雑誌としての位置づけも確保した。

英文学専攻から博士（文学）の学位取得者が誕生したことを、この号で報告することができることを喜びたい。博士後期課程は、所定の単位を取得したうえで、学位（博士）論文ができ、その審査および最終試験に合格して初めて修了することができるコースである。それに至るにはいくつかの関門があるが、自己の問題意識を論文の形で発表、学界の批判を受けながら独自の研究を深め発展させる努力の積み重ねが一番重要なものであろう。本誌がその役割の一部を担っている訳で、院生諸君の一層の努力を期待する。

本号も、創刊以来の方針に従って、すべての投稿論文を外部の権威者を含む査読委員による審査に付した。査読委員は次のとおりである。

亀井 俊介（東京大学名誉教授、岐阜女子大学教授）

喜志 哲雄（京都大学名誉教授）

森 晴秀（本学教授）

辻 裕子（本学教授）

鴨川 卓博（本学教授、大学院紀要編集連絡委員）

執筆者紹介（掲載順）

江藤あさじ（大学院特別研修者、英文学領域）

末森 恵子（博士後期課程3回生、英文学領域）

中田 智子（大学院特別研修者、英文学領域）

山本 佳寿（博士後期課程2回生、英文学領域）

木村 仁美（博士後期課程2回生、米文学領域）

創刊号以来本誌の編集を通じて、この専攻の発展に関わることができたことを感謝するとともに、本誌とこの専攻が一層発展することを祈る。

05：03：15 大学院紀要編集連絡委員

英語英米文学論輯 京都女子大学大学院研究紀要
文学研究科英文学専攻

2005年（平成17年）3月31日発行
第4号

編集 京都女子大学大学院文学研究科
英文学専攻（博士後期課程）

発行 京都女子大学
〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35
電話 075-531-7051（代表）

印刷者 株式会社 同朋舎
〒600-8805 京都市下京区中堂寺鍵田町2
電話 075-361-9121

English and American Studies

JOURNAL OF THE GRADUATE SCHOOL
KYOTO WOMEN'S UNIVERSITY

No.4

CONTENTS

[Articles]

- “One first matter all” — Milton’s Theodicy in *Paradise Lost*
..... Asaji Eto··· 1
- Mother’s Education of her Daughter in *The Wrongs*
of Woman: or, Maria Keiko Suemori···19
- D. H. Lawrence and Tree Worship:
Toward “the tree of life” Tomoko Nakada···35
- Yeats’s Stance on the Nationalist Movement
in *The Dreaming of the Bones* Kazu Yamamoto···55
- From “Lucretia” to “Campaign That Failed”:
Twain’s Advance toward Novelist Hitomi Kimura···65
- [Reports]81

Kyoto, Japan

2005